

建設マネジメント研究委員会建設経営小委員会
「働き方改革」に向けた地域企業の取り組みについて

【調査研究目的と内容】

「働き方改革」に取り組む地域企業の事例を調査し、優良事例について体系化・一般化して、人材確保や育成に取り組む建設企業に紹介することで、建設産業の持続的発展に寄与したい。

【調査実施内容】

平成29年度に4社に事例発表いただいた。

働きやすい環境創出に取り組む企業 2社

ICT導入で業務の効率化に取り組む企業 1社

外国人技能実習生を受け入れ労働力確保に取り組む企業 1社

【調査結果】

〔聞き取り調査した企業に共通していること〕

- トップの取り組み意識が高い
- 我が社は地域の顔であり、地域貢献こそ社是。地域貢献は社員一人一人が幸せであればこそできること。
- このため、社員一人一人の自主性を尊重し、社員の意見をよく聴き、良いと思ったことは積極的に採用。

〔働きやすい環境創出の事例〕

- 人事考察制度の見直し・・・本人の希望を聴く
 - 例1) 「どういう仕事がしたいのか(農業?河川?など)」を聴き、希望通りに配置。仕事にやりがいを感じて、良い営業成績を残してくれた。
 - 例2) 「肩書きが低いと交渉で引けをとるので、給与昇級はなくていいので昇格を」、「名刺から業務責任を読み取れないと交渉相手は信用してくれないので、業務内容に応じた名刺を」という希望を聴き、そのとおり昇格させたり、名刺を複数与えることで営業成績が上がった。
- 福利厚生制度の見直し・・・家族への配慮「主人の会社はいいな～」
 - 例1) 家族行事(運動会・参観日・配偶者誕生日)のための特別休暇(有給休暇と別枠)を作る。結婚記念日には奥様に花束を贈っている。
 - 例2) 「配偶者の会」を作って奥様間の横の連携もつくり、奥様の悩み解決や家族的な雰囲気づくりを進める。
 - 例3) 「子供就職祝」や「住宅取得祝」を給付して、家族のお祝いは社の慶事として、社全員でお祝いする。
- 協力会社・グループ企業間の良好な関係形成

- 例 1) 協力会社の社員の参加も募って、「飲みにケーション」や「ヨガ講習会」を開催し、良好な関係の形成に努めている。
- 例 2) やる気がある職員に複数の業務を兼務させ、複数の名刺を待たせることで、職員のやる気が向上し、生産性が向上した。(営業ついでに資材を売るなど)
- 有給休暇の所得・・・とりやすい雰囲気づくりやとりやすくする工夫
 - 例 1) 電子申請化することで所得率がアップした。
 - 例 2) 自主的運営・職務責任自覚と併せて、休暇所得を申告制とし、業務閑散期には長期休暇取得を推奨するようにした。「働くときは働く。休む時は休む。」
- 地域の顔としての企業イメージづくり
 - 例 1) 社用車を統一し、かつ職員の希望を聴いて車種選択した。
 - 例 2) オーダーメイドの作業服を着用している。
 - 例 3) オリジナルティッシュボックス(日ハム)を作って配布している。
 - 例 4) 毎月「挨拶・清掃の日」を設け全員で事業所付近を清掃
- 若年技術者の育成
 - 例 1) 入社1年目は通いの現場や宿舎に配置せず、先輩一人をチューターとして任命し、一年間は甘やかさせている。やめてしまったら先輩の責任。離職率はゼロ。
- その他
 - 例 1) 「運動不足なんです。」という職員の意見を聴き、健康増進のため、フィットネスマシンを利用できる施設を設置。30歳以上の職員には人間ドックを強制受診。
 - 例 2) 現場終了後に関係者全員にオリジナルラベルの日本酒を寄贈
 - 例 3) 社員全員と個別に面談

〔ICTの導入による業務効率化〕

- オリジナルソフトで、現場にあったカスタマイズと運用をすることで、作業効率が著しく向上。
 - 効果 1) 建築現場における検査書類で、何時間もかけて業者毎に手書きし、振り分けていたのを、ICT技術でコピーと振り分けが一瞬で完了。
 - 効果 2) 写真も登録できるので、指示事項に曖昧さがなくなり、判断もしやすい。
 - 効果 3) マスタに指摘項目があらかじめ入っているので入力手間も省けスムーズ
- いままでにない分野にやりがいを見いだし、「自分たちが先駆者だ」という自覚のもと、社員の意識改革にもつながった。
- 企業アピールにつながり、人材確保につながった。

〔外国人技能実習生の受け入れ〕

- 若い力が入り職場に活気が出る。
- 国際貢献の社会的な使命を果たすという誇りが社内に広がる。
- 実習実施期間は戦力として安定した人材確保ができる。